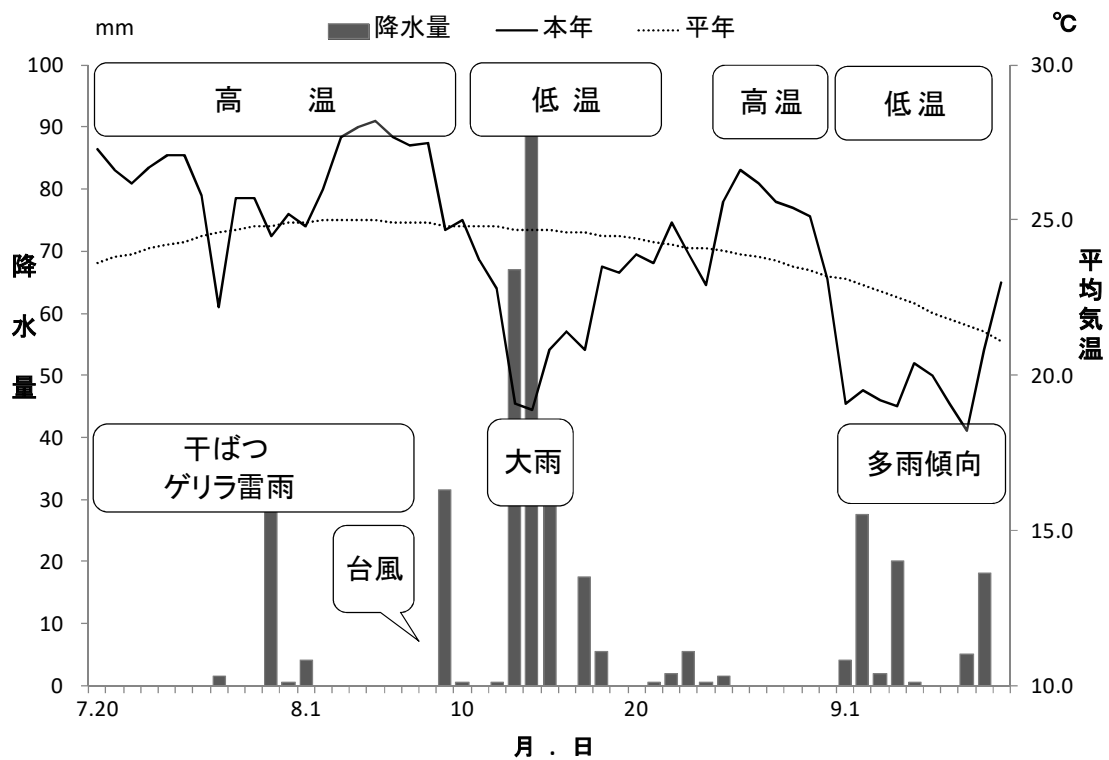


令和3年 作物技術普及情報 第17号

水稲の生育状況及び収穫開始予測について

1 気象状況

令和3年 気象経過(穂高アメダス 7月20日~9月10日)



9月も低温傾向が続いています。今後は平年並みの気温が予想されます。また前線の影響で降雨がやや多く、日照時間の少ない状況が続いています。

2 水稻の生育状況

現地の平坦地の生育状況（9月11日現在）

早生品種 : 成熟期(収穫は80%程度終了)

コシヒカリ : 5月上旬植 成熟期(収穫中)
 5月中旬植 登熟後期
 5月下旬植 登熟中期

5月15日植 標高540mの成熟期予測(9月11日現在)

5月15日植 (標高540m)		成熟期		
		登熟期間の気温		
		平年並	平年より 2℃高	平年
コシヒカリ	稚苗	9月21日	9月19日	9月23日
	中苗	9月15日	9月14日	-

お盆前後の低温・日照不足で生育が停滞したため、登熟のばらつきが大きく、9月に入っても低温・日照不足なため成熟が遅れています。平成23年や平成26年に似た気象経過、生育経過となっています。

定点圃場のあきたこまちの成熟期は9月4日、美山錦の成熟期は9月9日で平年より4日早でした。コシヒカリの成熟期は9月21日（平年より2日程度早）と予想しています。

また、5月後半に田植されたコシヒカリや風さやかは平年並みまで成熟期が遅れそうです。

3 水稻の収穫について

平坦地の早生品種は8月28日頃より収穫が始まり、収穫は80%程度終了しました。コシヒカリも9月6日頃より収穫が始まっていますが、降雨により収穫は遅れています。

今年は登熟のばらつきが大きく、穂先の籾は成熟が進んでいますが、穂軸に近い2次枝梗の籾や弱勢籾の登熟がかなり遅れており、穂の中でも登熟の差が大きくなっています（下の写真をご覧ください）。

写真のような緑～黄色の籾は、指でつぶせるほど柔らかいため、登熟が著しく遅れると思われます。

このような籾の登熟を待っていると、先端の登熟の進んだ籾が胴割れする恐れがあります（5月初旬植えのコシヒカリでは、先端の籾で同割れが発生している圃場もあります）。

収穫の判断が難しいと思いますが、刈り遅れて胴割れになるよりは、青が少し多くても収穫を進めた方が品質は安定すると思われます（網目を上げて、色選を通して、胴割れは抜けませんので）。

刈り始め予測の「平年並 気温版」を参考していただくとともに、籾水分や籾の成熟状況を確認して、田植えの早い圃場から順次刈り取りを進めていただくようお願いいたします。



コシヒカリ 標高550m	苗質	刈り始め予測日（平年並みの気温の場合）					
		田 植 日					
	5月1日	5月5日	5月10日	5月15日	5月20日	5月25日	
	稚苗	9月8日	9月9日	9月13日	9月16日	9月19日	9月23日
	中苗	9月3日	9月4日	9月7日	9月10日	9月14日	9月17日

	苗質	刈り始め予測日（平年より2℃高い気温の場合）					
		田 植 日					
	5月1日	5月5日	5月10日	5月15日	5月20日	5月25日	
	稚苗	9月7日	9月8日	9月11日	9月14日	9月16日	9月20日
	中苗	9月2日	9月3日	9月5日	9月9日	9月12日	9月15日

【上表は豊科定点圃場の推定値（9月11日現在）です】

標高別・移植日別の詳細は「9月11日現在の水稻刈り始め予測（平年並み気温版、高温版）」をご覧ください（ホームページに掲載いたします）。